

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**生物学****1 学年**

[基本情報]

|               |                         |     |      |     |     |
|---------------|-------------------------|-----|------|-----|-----|
| 担当教員          | 神長 まどか                  | 単位数 | 2    | 時間数 | 30  |
| 実務経験<br>/関連資格 | 医療系大学で生理学を担当/特任助教、柔道整復師 |     |      |     |     |
| 開講学期          | 前期                      | --- | 授業形態 | 講義  | --- |

[授業目標]

環境と生物の反応、生物の環境応答を中心に学習する。

はり師きゅう師に必要な生理学を学ぶ上でも必須となる知識を養うことを目標とする。

[評価方法]

出席日数、授業態度、単位認定試験及び小テスト等の結果をもって判定する。

なお、全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

配布プリント

『生理学 第3版』社団法人東洋療法学校協会 編

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 :回数/講義内容/形式

| 回数  | 講義内容                              | 形式    |
|-----|-----------------------------------|-------|
| 1回  | ガイダンス、細胞膜、細胞内小器官、体液の組成、物質の移動      | 講義    |
| 2回  | 神経細胞の構造と機能、静止膜電位、活動電位、興奮の伝導、興奮の伝達 | 講義    |
| 3回  | 神経系の分類                            | 講義    |
| 4回  | 自律神経とホメオスタシス                      | 講義    |
| 5回  | 筋肉 ①                              | 講義    |
| 6回  | 筋肉 ②                              | 講義    |
| 7回  | 第1回～6回までのまとめと解説                   | 講義    |
| 8回  | 血液 ①                              | 講義    |
| 9回  | 血液 ②                              | 講義    |
| 10回 | 循環 ①                              | 講義    |
| 11回 | 循環 ②                              | 講義    |
| 12回 | 循環 ③                              | 講義    |
| 13回 | 第8回～12回までのまとめと解説                  | 講義    |
| 14回 | 全体のまとめ                            | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説                        | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**倫理学**(コミュニケーション含む)

1 学年

[基本情報]

|               |  |     |      |    |     |    |
|---------------|--|-----|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 江黒 友美  |     | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | 長年、教育行政や小学校の管理職を歴任し、現在、医療人として必要な対人コミュニケーションや論理的思考力、判断力、実践力等を指導する大学教授 |     |      |    |     |    |
| 開講学期          | 前期   | --- | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

人として必要な倫理観を養い、考える力と自分なりの答えを導き出す力を育て、医療人としての自覚を身に付ける。

[評価方法]

全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。  
授業点 40 点、単位認定試験 60 点の総合判定による。

[教科書]

[参考書]

配布プリント

『現代倫理学入門』 加藤尚武 (講談社学術文庫)

[履修の条件・留意点]

アクティブラーニングを中心とした活動を行うので、積極的な参加を望む

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |                                    |       |
|-----|------------------------------------|-------|
| 1回  | イントロダクション 自分で答えを見出すこと              | 講義    |
| 2回  | 倫理とは何か — 鍼灸師と倫理                    | 講義    |
| 3回  | 医療人の基本理念・求められる医療人 — 礼節とホスピタリティー    | 講義    |
| 4回  | コミュニケーションツールの基本— 社会でのマナーと言語による意思疎通 | 講義    |
| 5回  | コミュニケーションツールの基本— 患者さんへ思いを伝える文章表現   | 講義    |
| 6回  | “人間として何が正しいのか —物事の判断基準             | 講義    |
| 7回  | 功利主義と義務論(1)”                       | 講義    |
| 8回  | “人間として何が正しいのか —物事の判断基準             | 講義    |
| 9回  | 功利主義と義務論(2)”                       | 講義    |
| 10回 | 生命倫理 現代医療と倫理                       | 講義    |
| 11回 | 生命倫理 未来の医療 ロボット産業                  | 講義    |
| 12回 | 生命倫理 進化する医療 ドーピング 優生学              | 講義    |
| 13回 | 生命倫理 進化する医療 生殖医療                   | 講義    |
| 14回 | 生命倫理 進化する医療 遺伝子療法                  | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説                         | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**生化学****1 学年**

[基本情報]

|               |   |  |      |    |     |    |
|---------------|---|--|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 柳平 悦子   |  | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | 長年、高校教員として生物、化学、物理を担当し、生体内における代謝、化学変化を理解してもらい、生理学の基礎として十分な理解力を養わせる。 |  |      |    |     |    |
| 開講学期          | 前期  |  | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

ヒトに関する科学を理解する上で基本となる物質の化学変化を理解する。  
また、2年次以降の教科につながる応用力を念頭に置いて、はり師きゅう師に必要な基礎知識を養うことを目標とする。

[評価方法]

出席日数、授業態度、単位認定試験及び小テスト等の結果をもって判定する。  
なお、全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

プリント配布

コンパクト生化学

[履修の条件・留意点]

随時、プリントを配ります。当日、必ず受け取ること。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |                          |       |
|-----|--------------------------|-------|
| 1回  | 概論(電解質と非電解質、無機化合物と有機化合物) | 講義    |
| 2回  | 原子の構造、結合様式               | 講義    |
| 3回  | 式量、モル濃度                  | 講義    |
| 4回  | 酸と塩基                     | 講義    |
| 5回  | 水素イオン濃度とpH               | 講義    |
| 6回  | 有機化学(脂肪族、芳香族)            | 講義    |
| 7回  | 飽和炭化水素(アルカン)             | 講義    |
| 8回  | 不飽和炭化水素(アルケン、アルキン)       | 講義    |
| 9回  | アルコールの酸化、アルデヒド、カルボン酸     | 講義    |
| 10回 | 3価アルコール、グリセリン(グリセロール)    | 講義    |
| 11回 | エーテル ケトン カルボン酸(脂肪酸)      | 講義    |
| 12回 | エステル トリグリセリド             | 講義    |
| 13回 | 芳香族 カテコール                | 講義    |
| 14回 | タンパク質 アミノ酸と糖質            | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説               | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**心理学****1 学年**

[基本情報]

|               |   |    |      |    |     |    |
|---------------|---|----|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 橋本 和幸   |    | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | 大学で心理学を専門に担当されている先生が、人間の心理的機能やそれらを表現する方法について事例を示しながら、自分や他人の心理を理解・共有する方法を教授する。 |    |      |    |     |    |
| 開講学期          | ---   | 後期 | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

心理学は精神や行動を研究する学問であるが、着眼点や研究方法によって、様々な領域に分けることが出来る。この授業では、人間の心理的機能やそれらを表現する方法についての知識を得ながら、自分や他人の心理を理解・共有する方法の理解を目指す。具体的には次の2点を目標とする。

○心を理解するための理論を理解する。

○心を理解するためのいくつかの技法を理解する。

[評価方法]

単位認定試験と授業内課題の総合(合算)判定による。

全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

はじめての芸術療法(ムイスリ出版)

ISBN:978-4-89641-255

テーマごとに授業中に随時紹介する。

[履修の条件・留意点]

知識提供と体験を織り交ぜながら心理学を理解出来るようにしていきたい。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |                        |       |
|-----|------------------------|-------|
| 1回  | 授業の内容や進め方の説明           | 講義    |
| 2回  | 心の見方①:無意識を重視する考え(フロイト) | 講義    |
| 3回  | 心の見方①:無意識を重視する考え(フロイト) | 講義    |
| 4回  | 心の見方②:無意識を重視する考え(ユング)  | 講義    |
| 5回  | 心の見方②:無意識を重視する考え(ユング)  | 講義    |
| 6回  | 心の見方③:ロジャーズ            | 講義    |
| 7回  | 心の見方④:ゲシュタルト           | 講義    |
| 8回  | 心の見方⑤:家族療法             | 講義    |
| 9回  | 心の見方⑤:家族療法             | 講義    |
| 10回 | 心の表現方法(イメージとナラティブ)     | 講義    |
| 11回 | 実技①:バウムテスト             | 講義    |
| 12回 | 実技②:風景構成法              | 講義    |
| 13回 | 実技③:造形                 | 講義    |
| 14回 | 総復習                    | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説             | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**英 語****1 学年**

[基本情報]

|               |   |     |      |    |     |    |
|---------------|---|-----|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 林 響子  |     | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | 大学で英語を専門に担当されている先生が、医療現場に必要なコミュニケーションを英語で取るための基礎力を養うことに重点を置き、表現する力を修得させる。 |     |      |    |     |    |
| 開講学期          | 前期  | --- | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

高校段階までの学習内容を基礎に、「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能を伸ばし、英語で基礎的なコミュニケーションをとる力を養うことに重点を置く。主に医療分野に関する英文の読解を通じて、基礎となる文法、語彙、語法の増強を行うとともに、リスニングや発音練習を通じて英語の音にも習熟する。さらに、会話練習や基本的な英作文を行って英語で表現する力を身につける。

[評価方法]

単位試験(50%)、小テスト(30%)、授業内での発表(20%)を合算し評価する。  
なお、全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

やさしい医療英語(Medical English Clinic)  
センゲージラーニング出版

・ジーニアス英和辞典 大修館書店  
・中学・高校 6年間の英語をこの1冊でざっと復習する  
稲田 一 著 KADOKAWA/中経出版

[履修の条件・留意点]

英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。毎回指定された部分の予習と復習をしっかりと行うことが必要となる。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 1回  | 授業の導入、Unit 1 First Visit (Listening)      | 講義    |
| 2回  | Unit 1 First Visit (Reading)              | 講義    |
| 3回  | Unit 1 First Visit (Writing)              | 講義    |
| 4回  | Unit 2 At the Examination Room(Listening) | 講義    |
| 5回  | Unit 2 At the Examination Room(Reading)   | 講義    |
| 6回  | Unit 2 At the Examination Room(Writing)   | 講義    |
| 7回  | Unit 3 Flu Symptoms(Listening)            | 講義    |
| 8回  | Unit 3 Flu Symptoms(Reading)              | 講義    |
| 9回  | Unit 3 Flu Symptoms(Writing)              | 講義    |
| 10回 | Unit 4 Pain Problems(Listening)           | 講義    |
| 11回 | Unit 4 Pain Problems(Reading)             | 講義    |
| 12回 | Unit 4 Pain Problems(Writing)             | 講義    |
| 13回 | Unit 5 Stomachache(Listening)             | 講義    |
| 14回 | Unit 5 Stomachache(Reading)               | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説                                | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

## スポーツ科学

1 学年

[基本情報]

|               |  |    |      |    |     |    |
|---------------|--|----|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 西尾 悠介  |    | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | はり師きゅう師、柔道整復師(専科教員)、日本体育協会ATの資格を持つ教員がスポーツ現場での豊富な経験を活かし、競技力向上や健康づくりなど、治療の幅を広げるべく、トレーニング指導の基礎と実践を指導する。 |    |      |    |     |    |
| 開講学期          | ---  | 後期 | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

生理学・解剖学の知識を用い競技者へのトレーニング指導及び・高齢者への運動療法の指導など地域医療の担い手となれる鍼灸師の育成を図る。

[評価方法]

単位の認定は出席日数・授業態度、単位認定試験の結果をもって判定する。  
なお、全授業の1/3以上の欠席があったものは学年末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

配布プリント

・トレーニング指導者テキスト 実践編・改訂版  
・トレーニング指導者テキスト 理論編・改訂版

[履修の条件・留意点]

私語などほかの学生に迷惑をかける行為は禁止とする。  
ストレッチ・トレーニングは誤った使い方をすれば重大な事故を招くことを十分に留意する。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |                                  |       |
|-----|----------------------------------|-------|
| 1回  | オリエンテーション                        | 講義    |
| 2回  | 運動生理学                            | 講義    |
| 3回  | 運動と栄養                            | 講義    |
| 4回  | 運動と心理                            | 講義    |
| 5回  | トレーニング指導者の役割、トレーニング計画の立案         | 講義    |
| 6回  | パワー向上トレーニングの理論と実際                | 講義    |
| 7回  | 持久力向上トレーニングの理論と実際                | 講義    |
| 8回  | スピード向上トレーニングの理論と実際               | 講義    |
| 9回  | ウォームアップ、クールダウン、柔軟性向上のプログラムの理論と実際 | 講義    |
| 10回 | 特別な受傷から復帰のためのトレーニングとプログラム        | 講義    |
| 11回 | 障害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム         | 講義    |
| 12回 | トレーニング効果の測定と評価                   | 講義    |
| 13回 | トレーニングの運営と情報活用                   | 講義    |
| 14回 | 総まとめ                             | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説                       | 試験/講義 |

2021年度

[分野] 基礎

/科学的思考の基盤/人間と生活

[授業科目]

**栄養学****1 学年**

[基本情報]

|               |   |    |      |    |     |    |
|---------------|---|----|------|----|-----|----|
| 担当教員          | 柳平 悦子   |    | 単位数  | 2  | 時間数 | 30 |
| 実務経験<br>/関連資格 | 長年、高校教員として生物、化学、物理を担当した経験をもつ教員がヒトの生体内における化学変化と運動、さらに栄養との関連について指導する。 |    |      |    |     |    |
| 開講学期          | ---   | 後期 | 授業形態 | 講義 | --- |    |

[授業目標]

私たちは健康を維持するために適度な運動と休息、そして必要な栄養素を過不足なく摂取することが不可欠であり、多くの疾病は栄養と密接に関係していると言える。ついでに、健康づくりのための運動刺激を踏まえ、一般人の健康増進への活用を目標とする。又、スポーツ選手の競技力向上に貢献できる身体づくりを考察する。

[評価方法]

出席日数、授業態度、単位認定試験及び小テスト等の結果をもって判定する。  
なお、全授業数の1/3以上の欠席があった場合、学期末試験の受験は認めない。

[教科書]

[参考書]

『コンパクト栄養学』(株)南江堂 廣野治子著他

特になし

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 ;回数/講義内容/形式

|     |                                       |       |
|-----|---------------------------------------|-------|
| 1回  | 栄養とは・栄養学概論 (三大栄養素)                    | 講義    |
| 2回  | 五大栄養素 (ビタミン・ミネラルとは)                   | 講義    |
| 3回  | 運動と栄養1 (基礎理論 タンパク質)                   | 講義    |
| 4回  | 運動と栄養2 スポーツ選手の競技力向上と栄養 (タンパク質とアミノ酸)   | 講義    |
| 5回  | 運動と栄養3 一般人の健康増進と栄養(エネルギーの指標、栄養素の指標)   | 講義    |
| 6回  | 運動と栄養3 脂質とは (中性脂質と極性脂質)               | 講義    |
| 7回  | 運動と栄養3 脂肪酸の種類 (必須脂肪酸)                 | 講義    |
| 8回  | 運動と栄養3 糖質の化学 (グルコース、フルクトースなど単糖類)      | 講義    |
| 9回  | 運動と栄養3 二糖類、多糖類 (デンプンとグリコーゲン)          | 講義    |
| 10回 | 運動と栄養3 ビタミンの種類 (水溶性ビタミンと脂溶性ビタミン)      | 講義    |
| 11回 | 運動と栄養3 ビタミンとミネラルの欠乏症                  | 講義    |
| 12回 | 運動と栄養3 食物繊維、水、核酸(DNAとRNA)             | 講義    |
| 13回 | 運動と栄養3 栄養所要量、健康づくりのための運動指針            | 講義    |
| 14回 | 運動と栄養4 生活習慣病の予防、肥満対策(摂取エネルギーと消費エネルギー) | 講義    |
| 15回 | 単位試験/解答・解説                            | 試験/講義 |